

2019年7月26日

報道関係各位

グラクソ・スミスクライン株式会社

狂犬病ワクチン「ラビピュール筋注用」 新発売のお知らせ

グラクソ・スミスクライン株式会社(本社:東京都港区、社長:ポール・リレット、以下 GSK)は、7月26日付で同社の狂犬病ワクチン「ラビピュール筋注用」(一般名:乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン、以下「ラビピュール」)を発売いたしました。

「ラビピュール」は、狂犬病の予防及び発病阻止の効能・効果で、3月26日付で厚生労働省より製造販売承認を取得し、5月22日に薬価収載されました。なお、本剤は狂犬病の発病阻止(曝露後免疫)の目的で使用した場合にのみ保険給付されます。

「ラビピュール」は、ニワトリ胚初代培養細胞を用いた細胞培養由来狂犬病ワクチンです。狂犬病の曝露前免疫(狂犬病の予防)及び曝露後免疫(狂犬病の発病阻止)に、筋肉内注射で投与します。1984年12月にドイツで初めて承認されて以来、米国で1997年に承認後、現在世界70カ国以上で承認されています(2018年7月現在)。

狂犬病はイヌだけでなく、ネコやコウモリなどの他の哺乳類からも感染し、有効な治療法が確立されていないため、いったん発症するとほぼ100%が死亡する疾患です¹。本邦は狂犬病清浄国であり、長い間国内での感染例は報告されておりませんが、世界では年間5~6万人が死亡しており、うち3万人以上はアジア地域が占めています²。

GSKは広範なワクチンポートフォリオを有しており、感染症予防と公衆衛生の向上に貢献するために、今後も必要なワクチンを日本に導入すべく尽力してまいります。

「ラビピュール」の製品概要

製品名	「ラビピュール筋注用」
一般名	乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン
効能・効果	狂犬病の予防及び発病阻止
承認取得日	2019年3月26日
発売日	2019年7月26日

1. Fooks AR, et al.: Lancet. 384(9951), 1389-1399, 2014

2. Hampson K, et al.: PLoS Negl Trop Dis. 9(4), e0003709, 2015

GSKは、より多くの人々に「生きる喜びを、もっと」を届けることを存在意義とする科学に根差したグローバルヘルスケアカンパニーです。詳細情報は <https://jp.gsk.com> を参照ください。